

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2024年 9月 15日		～ 2024年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2024年 9月 10日		～ 2024年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	18歳以降の余暇支援を意識し、日々ゆうゆうクラブ内での活動を行っている。	様々な活動内容を経験して頂くことで、ご本人の興味の幅が広がり、得意な事をより伸ばしていくことが出来るよう取り組んでいる。高学年になると、企画活動を取り入れており、グループで話し合い(SST含む)、一つの目標に向けて実行していく中で、やりたいと思う事をどう実行していくのか、そのために何が必要になるのか等を考える機会を作っている。	活動内で費用がかかるものに関しては特に、お金の使い方だけでなく、お金の大切さを十分に伝え知らせていくことが必要となる。
2	余暇活動の中でも、趣味ややりたいことだけを行うのではなく、自宅でのお手伝いやお掃除、買い物など多岐に渡るものでも考え、その部分も活動に取り入れ行っている。	学年や発達段階の違いに配慮し、グループを分けての活動内容としている。事前説明では視覚教示も多く取り入れている。	実際に一人でも出来ることを増やしていくため、環境の設定や、自宅でも出来る内容のものとの乖離しないようにしていく。
3	一年生から六年生までのお子様と一緒にご利用して下さっている為、低学年の方はモデルとなる高学年の姿があり、高学年の方は、年下のお友達のことを考えたり、配慮するという環境がある。	ペアを組むときやグループ分けを行う時は、意図して役割を全うできるように組み合わせている。皆と一緒に一つの事を行う等の機会を増やし、一人で過ごすよりも頼ったり、頼られたりする中で解決していくことができるという経験も持ってもらうように取り組んでいる。	高学年だけが負担にならないよう、高学年も困った時には相談しながら進めて行けるような分かりやすい環境を作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士関わって頂く機会が少ない。	お仕事の関係もあり、茶話会等なかなかご参加頂くことが難しい。	数か月前からのお知らせ、土曜や祝日に実施できるよう改善が必要。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しているが、全ての保護者に周知されているわけではない。	一堂に集まってご報告を行う機会を持つことが出来ていない事、またその後連絡アプリでの報告も全ての保護者様が確認されているかの確認が出来ない。	継続して職員に周知徹底し訓練、研修を実施すると共に、保護者会などを通じて保護者への周知、また確認にも努めていきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ゆうゆうクラブ
------	---------

公表日 2024年10月28日

利用児童数 28名

回収数 18名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1			十分に広いとは言えない環境ではありますので、グループごとに部屋を分ける等してスペースの確保に努めています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1			今後も安全面への配慮とともに、こまめに子どもたちをサポートできる体制を検討していきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1			室内では一日の視覚提示など行っており、来所時の階段の昇降には注意を払う等しています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18			子供達がたくさん居る中で一人一人きちんと見られてるところが素晴らしいと思います	今後も保護者様との密なコミュニケーションを通して課題設定等を行ってまいります
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1			引き続き発達段階に応じつつ、同じ内容に固定しないように工夫し、新しいものも取り入れていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	10	6	放デイ利用中に、という括りであれば「いいえ」かなと思います。	現段階では要望は無く、事業所として実施の予定はございません。必要に応じて実施を検討します。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	5	1		研修会等については、HUGアプリでの全体へのご案内等を行っています。その他に関しては今後、検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	2		自分から伝える時もあればこっちから聞いて答える時と意地悪で答えてくれない時があります	今後も個々に合わせて配慮出来る様に努めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2			今後も定期的な面談に加え、HUGアプリやお電話による相談対応も行っていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	8	2		保護者会や茶話会、保護者参観等を実施し、意見交換会の場を増やしていくことが出来るよう検討しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1			具体的に保護者様からのご要望を聞き取れるような体制を作り、適切な対応を行っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18				

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1			継続して職員に周知徹底し訓練を実施すると共に、保護者会などを通じて保護者への周知にも努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	2			定期的を実施すると共に、実施した報告をHUGアプリによる活動報告などでも発信していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	2			必ず研修を実施し、途中入社の職員にもその都度研修をおこない、安全確保について周知できるようにしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18				とてもとても楽しみにしています！ 明らかに、本人の中で生活の大きな喜びになっています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				スタッフのみなさまがあたたく、とても真摯に支援していただいています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ゆうゆうクラブ		公表日 2024年10月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			今後も効果的な各スペースの利用の仕方や環境整備を検討していきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			今後も安全面への配慮とともに、こまめに子どもたちをサポートできる体制を検討していきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	子どもの使用する玩具等、カーテンで遮り刺激を減らす環境づくりを行っています	バリアフリー等で改修するなど検討していきます。施設の構造上整備が難しいところについては、今後も継続的に最新の注意を払い対応していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			引き続き消毒など衛生面に注意していきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		音刺激等により、集中できない場合など別室で過ごせるよう配慮しています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			今後も目標、振り返り、改善案などPDCAを回せるようにしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		頂いたご意見やご意向を職員会議などで共有し、改善へと繋げられるようにしています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		気づきがあればミーティングを開き、意見を発しやすい環境になっています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			必要に応じて検討します
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		随時研修受講の機会を設けています	今後も現状に合わせた研修の機会を作り、資質の向上を目指します
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		連絡アプリを使用、活用し公表しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		面談や電話で保護者様やお子さまのニーズの聞き取りを行い、分析、作成しています	引き続き、面談や茶話会で保護者様やお子様のニーズの聞き取りを行い、分析、作成していきます
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		全職員で支援方法を検討していくと共に、適宜変更もしています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画に沿った支援を行い、記録を取り、全職員でモニタリングを行っています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			今後も保護者様からの情報とお子さまの発達から項目を導き出し、具体的に支援内容を変更していきます
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		保護者様からの情報と日々のお子様のご様子から項目を導き出し、必要な支援内容を設定しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		お子様の発達や状況に応じてチーム全体でプログラムを立案しています	今後も変化を持ちながら行っていきます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		日ごとに日々のプログラムを立て検討しています お子様の特性に応じ、事業所のカラーである余暇支援の為、製作・体を動かす・集団で行うゲーム・戸外活動等様々な活動を取り入れています	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		全職員で支援方法を検討していくと共に、適宜変更できるようにしています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日全職員で留意点などの確認を行い、役割分担など細かく打ち合わせを行っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終了後の振り返りには時間設定をし、長くなり過ぎず要点を伝えられるようにしています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録を取ることを徹底し、記録を基に支援内容や手順を共有し、改善に努めています	今後も継続して支援内容の検証・改善に努めます
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		3か月ごとの振り返りと6か月毎にモニタリングや必要時にカンファレンスを行ない、個別支援計画の作成し、日々のミーティングで話し合いをしています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		組み合わせたり、活動の内容として取り組みを行っています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		子どもと企画会議等で意思を尊重する機会を作っています	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		障害児相談事業所によるサービス担当者会議が実施される場合は、利用者の状況や課題に応じて参加する職員を選定しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			現段階では出来ていない部分が多い為、今後検討していきます
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		随時連絡調整を行い、お子様に不安が無いようにしています。また、学校と情報共有する際は保護者様にお伝えをしています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		保護者様からの依頼があった場合、または必要となった時には保護者様に確認を取った上で、情報共有を行っています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		必要に応じて、関係各機関と連携を取りながら障害福祉サービスへの移行をする場合、支援内容の情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		必要に応じて支援の実施を検討します
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	地域の行事の見学等で参加することはあります	今後も必要に応じて支援の実施を検討します
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		可能な限り参加しています
保護者への説明	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡アプリでの情報共有や、随時面談を行い保護者様との共通理解ができるよう努めています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		現段階では研修のご案内程度しか行っていない為、今後検討していきます
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		丁寧な説明を心がけており、その後の電話等による確認や相談にもお応えしています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		連絡アプリや随時お電話などによりフィードバック、また面談時での報告で意思をお聞き出来るようにしています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		丁寧な説明を心がけており、その後の電話等による確認や相談にもお応えしています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		適時面談やお電話でのご相談をお受けしています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		回数自体は少ない為、保護者会や茶話会、保護者参観等を実施し、意見交換会の場を増やしていくことが出来るよう検討しています

明 等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		すぐに対応しています。苦情の原因となる要因に対しても対策を取り、繰り返さないように工夫しています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		連絡アプリの導入により、以前よりもスムーズに情報発信が出来るようになります	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		上記のアプリ導入により、リスクを踏まえつつ日々注意しながら行っています	今後も全職員に周知徹底していきます。写真の掲載、販売に関しては同意書を確認しています
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		個々に合わせて配慮出来る様になっています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		コロナ以降、例えば夏祭り等で地域との交流を行わずにいるが、再検討していきます
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		研修を定期的に行い周知しています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを策定し、年に2回の訓練を実施しています。実施前後には保護者様にもお知らせしています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		必ず事前に確認しています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		対象となるお子様への対応を行っています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		研修を定期的に行い周知しています	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		定期的に見直しを行い、お子様の安全確保に関してご家族様と連携を図ることが出来るようにしています	継続して職員に周知徹底すると共に、保護者会などを通じて保護者への周知にも努めます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		その都度共有し、事故防止に繋げています。同じことを起こさないようにファイルを共有閲覧できる場所に置いています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年1回必ず研修を実施し、途中入社した職員にもその都度研修をおこない、周知できるようにしています	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		現在、対象となる事例はありませんが、必要時は十分に配慮し、行なった場合は保護者様に必ずお伝えします、個別支援計画にも記載しています		